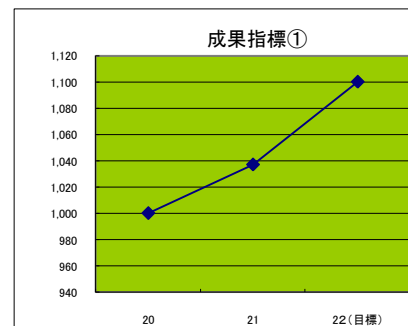
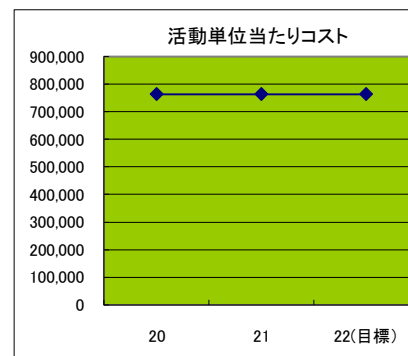


事務事業名		敬老会事業		会計	1	一般会計	
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	2	健康で生き生きと暮らせるやさしいまち	予算科目	3	民生費	
				項	1	社会福祉費	
				目	3	老人福祉費	
				事業	2	老人福祉	
施策(節)	3	高齢者福祉		作成部署 保健福祉部福祉支援課			
施策の方向	(3)	高齢者の生きがいがづくりの促進					
関連する計画等				羽曳野市高年いきいき計画			
事業の目的	対象(誰を・何を)			連絡先	072 - 958 - 1111 内線 1211		
	60歳以上の市民						
	意図(どういう状態にしたいのか)						
事業の内容	市内の高齢者に対し祝福の意を表し、あわせてその長寿を祝い、敬老思想の高揚と高年者福祉の増進に寄与することを目的とする。						
	敬老の日前後の2日間で市内5会場において敬老会を開催する。 一部は式典・二部は演芸(芸能人)						
根拠法令等							
事業開始時期		☐ 昭和 年開始 ☒ 明確にはわからない ☐ 市制施行(昭和34年)以前より行っている		終了年度 平成 年度			
事業開始時からの状況変化		平成18年度より実施施設の指定管理者である施設管理公社に委託。					
市民や議会の要望							
実施手法		☐ 直営 ☐ 一部委託 ☒ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()					
委託先		☒ 市外郭団体委託 名称(羽曳野市施設管理公社) ☐ 民間委託 ☐ その他		委託内容 敬老会開催に伴う会場設営及び園芸業者選定			

区 分		20年度	21年度	22年度
		(実績)	(実績)	(見込み)
事業費【1】 (千円)		2,094	2,094	2,094
人件費【2】 (千円)		1,725	1,725	1,725
職員数	正規職員	0.23 人	0.23 人	0.23 人
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	超過勤務(参考) (時間)	6.30 時間	3.00 時間	3.00 時間
総事業費 (【1】 + 【2】) 【A】 (千円)		3,819	3,819	3,819
財源内訳	国費 (千円)	0	0	0
	府費 (千円)	0	0	0
	市債 (千円)	0	0	0
	その他 (手数料・使用料等) (千円)	0	0	0
	一般財源 (千円)	3,819	3,819	3,819
活動指標(事業の活動実績)【B】 単位		20年度	21年度	22年度(目標)
① 実施ヶ所数	ヶ所	5	5	5
② 開催日数	日	2	2	2
③				
活動単位当たりコスト (【A】／【B】①)		763,800 円	763,800 円	763,800 円
市民1人当たりコスト (【A】／人口)		32 円	32 円	32 円



成果指標 (事業目的の達成度を測る指標)	指標名		単位	指標設定の考え方	平成20年度		平成21年度		平成22年度	
	①	(式)	人	敬老を祝され充足した方の人数	目標	1,000	1,037	達成率(%)	100.0%	1,100
					実績	1,000	1,037			
	②	(式)			目標			達成率(%)		
					実績					

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有	老人福祉法に規定する「老人の福祉についての関心と理解を深めるとともに、老人に対し自らの生活の向上に努める意欲を促す」ために必要な事業である。

分析・評価	視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
	妥当性	市民ニーズが高い 市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない 社会情勢の変化に対応している 他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない 国・府の事業と重複していない 事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい 緊急性が認められる	☒ ☒ ☐ ☐ ☒ ☒ ☐	☐ ☐ ☐ ☒ ☐ ☐ ☒	☐ ☐ ☒ ☐ ☒ ☐ ☐	各地域の施設で行われる敬老行事として市民ニーズは高く、事業を廃止した場合の影響は相当に大きいものと思われる。
	効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など) 受益者負担の割合は適当である 人員を削減する余地がない 事業費を削減する余地がない 簡略化できる方法や手段がない 市の他事業と重複していない 民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない	☒ ☐ ☒ ☐ ☐ ☒ ☒	☐ ☐ ☐ ☒ ☐ ☐ ☐	☐ ☒ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	会場設営及び芸能人選定については、平成18年度より施設管理公社に委託しており、一定の効率化が達成できている。
	有効性	上位の施策(目的)が明確である 上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である 成果を向上させる余地がない 市民の視点にたってサービスが提供されている	☒ ☒ ☐ ☒	☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☒ ☐	敬老思想の高揚および高齢者福祉の増進に寄与している。
	協働性	事業の企画、立案に市民が参加している 事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている 事業の実施について積極的に市民の意見を反映している 事業の実施に市民の参加、協力が得られている	☐ ☒ ☐ ☒	☒ ☐ ☒ ☐	☐ ☐ ☐ ☐	広報での案内とともに、祝品にチラシを同封して告知を行っている。
	達成度	成果指標の目標値は適正である 成果指標の実績値は目標値以上である 成果指標は前年度より向上している	☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐	☒ ☒ ☒	事業の特性上、達成度の評価にはなじまない。

担当部局評価	総合評価	
	☐ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了	
	評価の理由	
	会場設営及び芸能人選定については、平成18年度より施設管理公社に委託しており、一定の効率化が図られており、老人福祉法に規定する「老人の福祉についての関心と理解を深めるとともに、老人に対し自らの生活の向上に努める意欲を促す」ために必要な事業であることから現状維持が妥当である。 今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など) 市内5施設で高齢者が参加しやすいように工夫した事業形態としている。市の方針である「財政健全化計画」において「敬老事業の見直し」を掲げられているが、当該事業については市施策としても非常に重要な事業である。	
行革本部評価	総合評価	
	☒ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☐ 方法改善 ☒ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了	
行革本部評価	評価理由・意見	